

### 将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、 判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および 変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 日本、北米、欧州、アジアおよび当社が営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争環境
- 為替相場(主として日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、加ドルおよび英国ポンドの相場)、株価および金利の変動
- 金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
- 効果的な販売・流通を実施する当社の能力
- 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施する当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制および政府政策の変更で、特にリコール等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいて 当社の自動車事業に影響を与えるもの、または現在・将来の訴訟やその他の法的手続きの結果を含めた当社のその他の営業活動に影響を与える法律、規制および政府政策の変更など
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的および経済的な不安定さ
- タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにする当社の能力
- ブランド・イメ―ジの毀損
- 仕入先への部品供給の依存
- 原材料価格の上昇
- デジタル情報技術および情報セキュリティへの依存
- 当社が材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、電力・交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が 中断されたり、困難である状況など
- 生産および販売面への影響を含む、自然災害および感染症の発生・蔓延、不安定な政治・経済、燃料供給の不足、社会基盤の障害、戦争、テロ、ストライキなどによる様々な影響
- 気候変動および低炭素経済への移行の影響
- ●有能で多様な人材を確保・維持する能力

以上の要素およびその他の変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。 インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。 同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知し

かつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービス)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

# 決算サマリー

### 2024年3月期 第1四半期実績:営業利益 1兆1,209億円

- ・長らく続いた半導体需給の改善に加え、仕入先と一緒に進めてきた、 生産性向上活動により、全ての地域で前年同期から販売台数が増加 一方、新型車を中心に、依然納車に時間を要する状況 引き続き、少しでも早くお届けできるよう努力していく
- ・長年の「もっといいクルマづくり」で商品を磨き、それぞれの商品力に応じた 価格設定と、一台一台のクルマを大切に販売した結果、資材高騰の影響を吸収し、 前年同期から増益
- ・新型コロナウイルスの感染拡大や、半導体需給のひっ迫による生産制約など、 多くの困難に直面しながらも、**仕入先・販売店も含めた現場の従業員が それぞれやるべきことを認識・行動し、危機に強い経営体質・収益構造を** 作り上げてきた成果が表れた
- ・引き続き、カーボンニュートラルへの取り組みと収益構造の改善の両立を進め、 「**クルマの未来を変えていく」諸活動を推進**していく

# 2024年3月期第1四半期実績

日本

北米

欧州

その他

アジア

•中南米

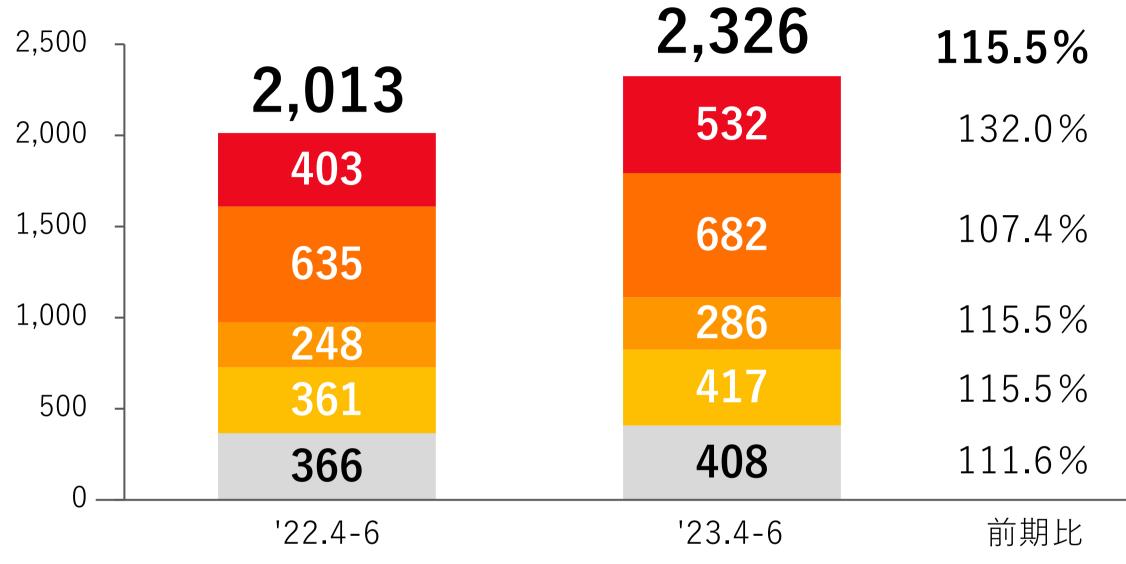
・アフリカ

・オセアニア

・中東など

## 連結販売台数

(単位:千台)



#### ご参考 (小売)

トヨタ・レクサス販売台数	2,342	2,538	108.4%
電動車 [比率]	668 [28.5%]	868 [34.2%]	129.9%
内、HEV	640	807	126.1%
PHEV	23	31	136.6%
BEV	4	29	622.5%
FCEV	1	1	152.9%
グループ総販売台数	2,544	2,751	108.1%

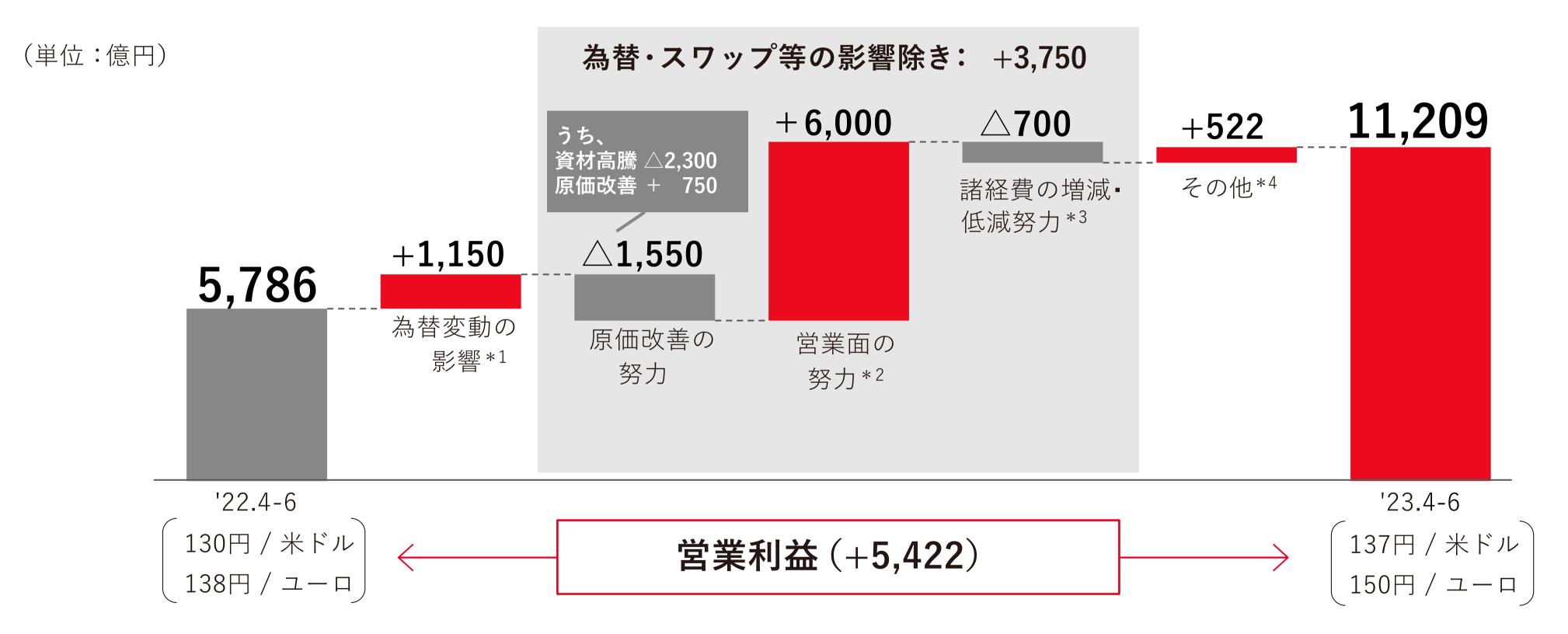




(単位:億円)	'22.4-6	'23.4-6	増減	
営業収益	84,911	105,468	+20,557	
営業利益	5,786	11,209	+5,422	
営業利益率	6.8%	10.6%		
営業外損益	4,430	5,996	+ 1,565	
持分法による投資損益	1,710	1,933 *	+222	
税引前利益	10,217	17,205	+6,988	
親会社の所有者に帰属する四半期利益	7,368	13,113	+ 5,745	
四半期利益率	8.7%	12.4%		
米ドル	130円	137円	7円円安	
為替レートユーロ	138円	150円	12円円安	

<sup>\*</sup> うち、日本1,224 (前年同期比+409)、中国543 (同△254)、その他166 (同+67)

## 連結営業利益増減要因

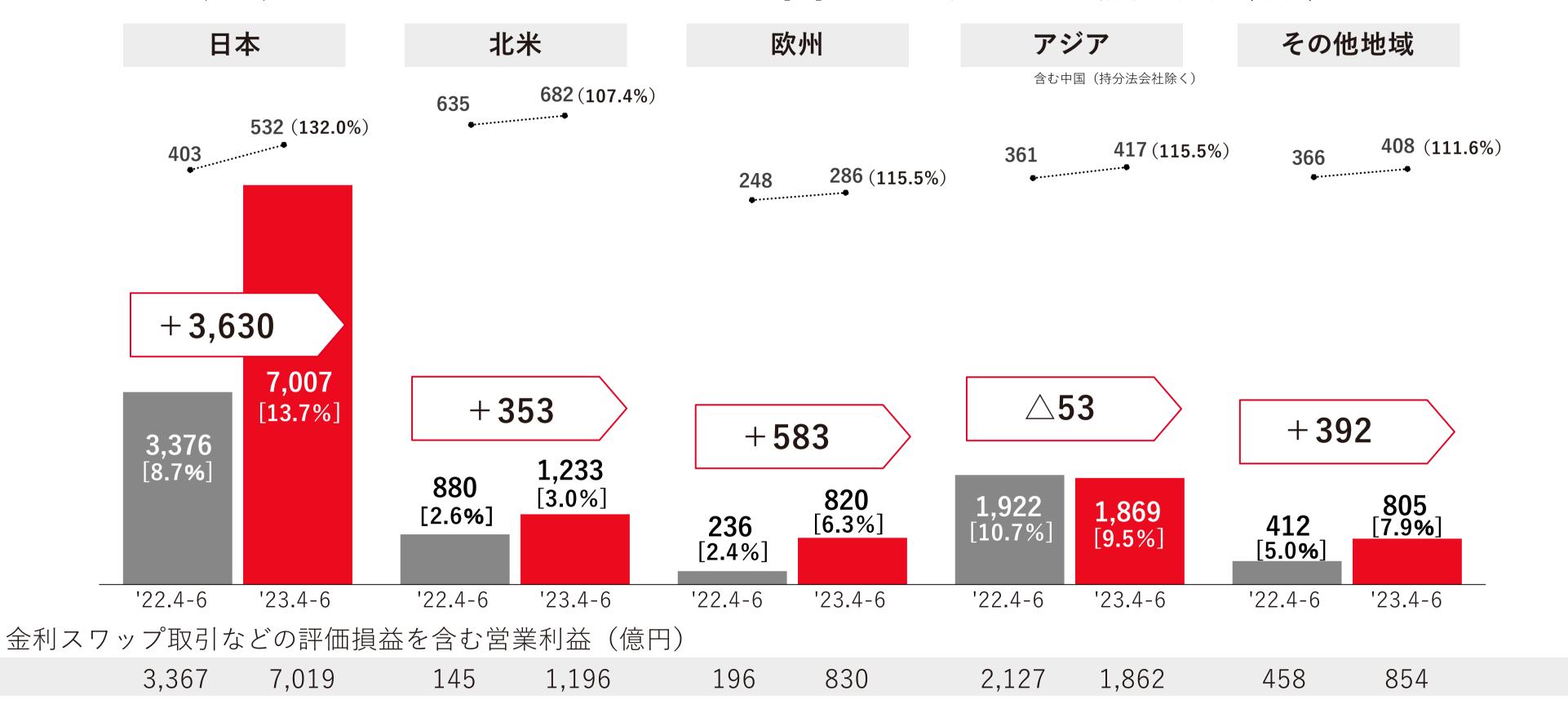


*1 内訳				*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	+900	海外子会社の	+150	台数・構成	+3,050	労務費	△300	スワップ等の評価損益	+561
- 米ドル	+950	営業利益換算差		金融事業	△300	減価償却費	+150	その他	△39
- ユーロ	+250	その他	+100	その他	+3,250	研究開発費	+100		
- その他通貨	△300	(外貨建引当の期末換算差ほか)				経費ほか	△650		



### 所在地別営業利益

■■ 営業利益(億円)<金利スワップ取引などの評価損益を除く> [ ]営業利益率 •---• 連結販売台数(千台)

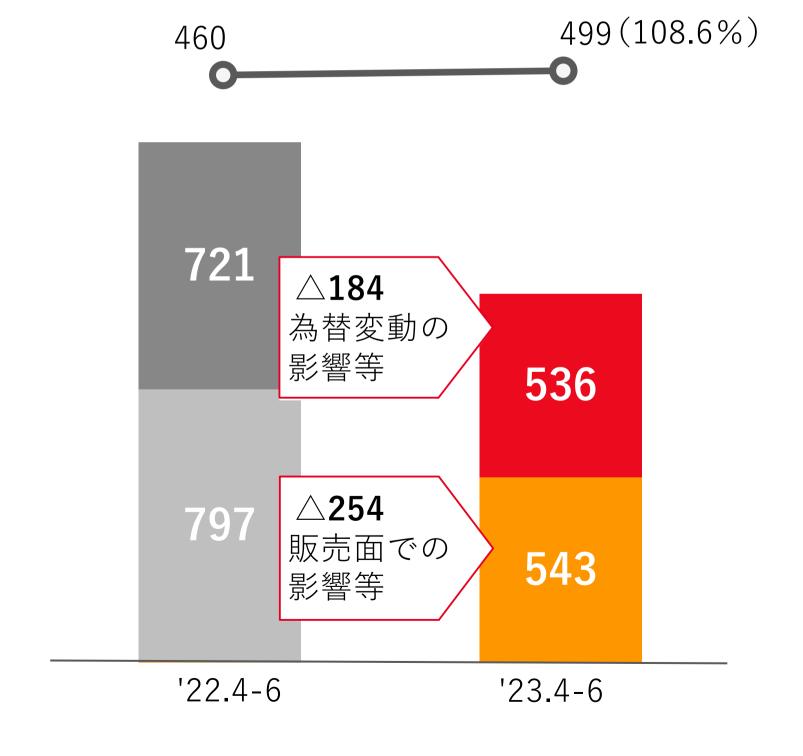


# 中国事業/金融セグメント

#### TOYOTA

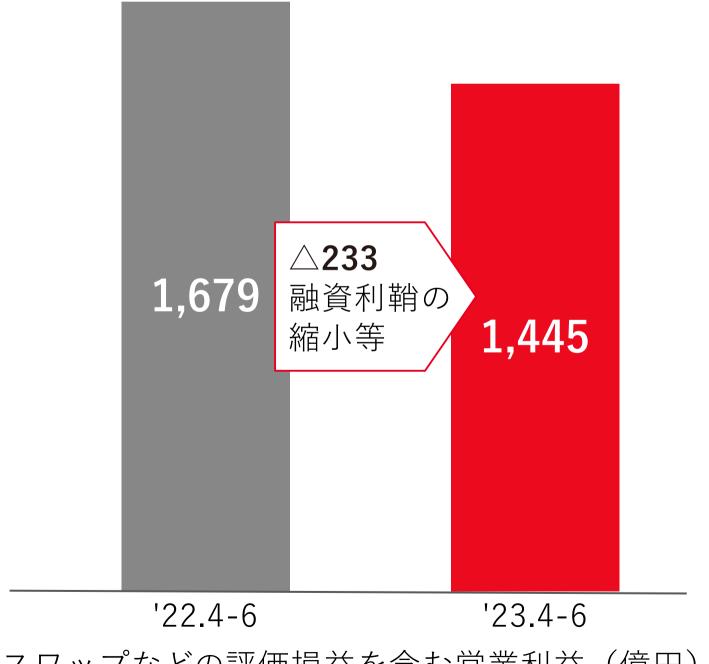
#### 中国事業(ご参考)

- 連結子会社 営業利益(億円)
- ➡ 持分法適用会社 持分法による投資損益(億円)
- **-○** トヨタ・レクサス販売台数 (千台)



#### 金融セグメント

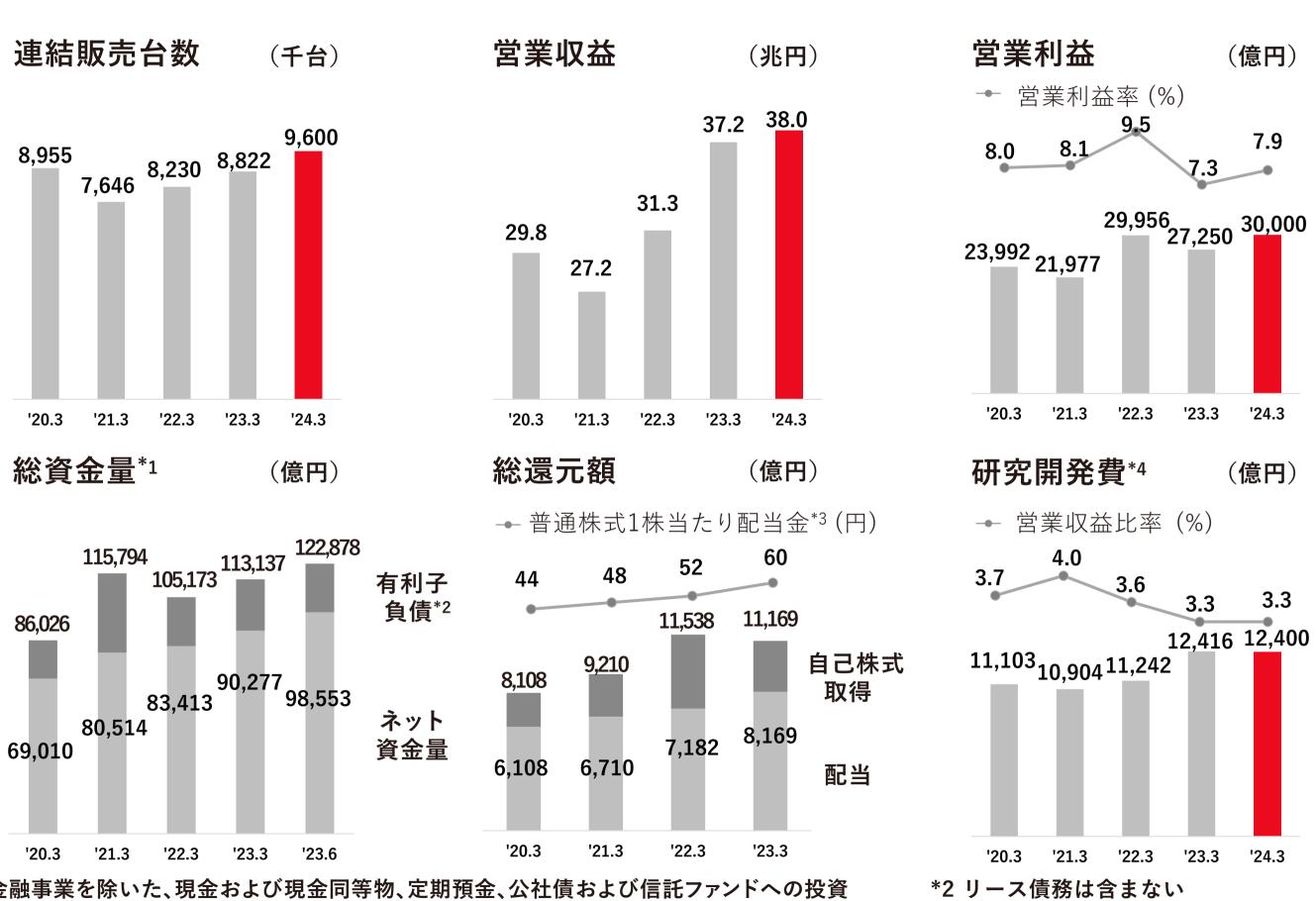
■ 営業利益(億円)<スワップなどの評価損益を除く>



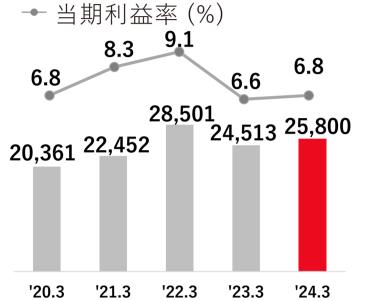
スワップなどの評価損益を含む営業利益 (億円) 1,145 1,472

### (参考)業績推移

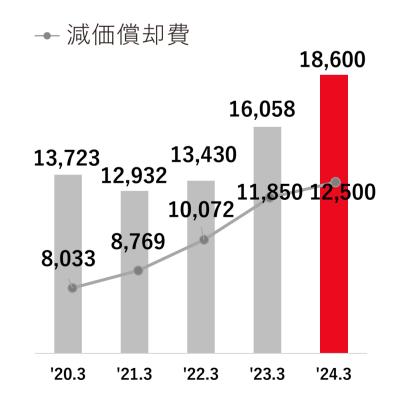
#### TOYOTA



#### 親会社の所有者に (億円) 帰属する当期利益







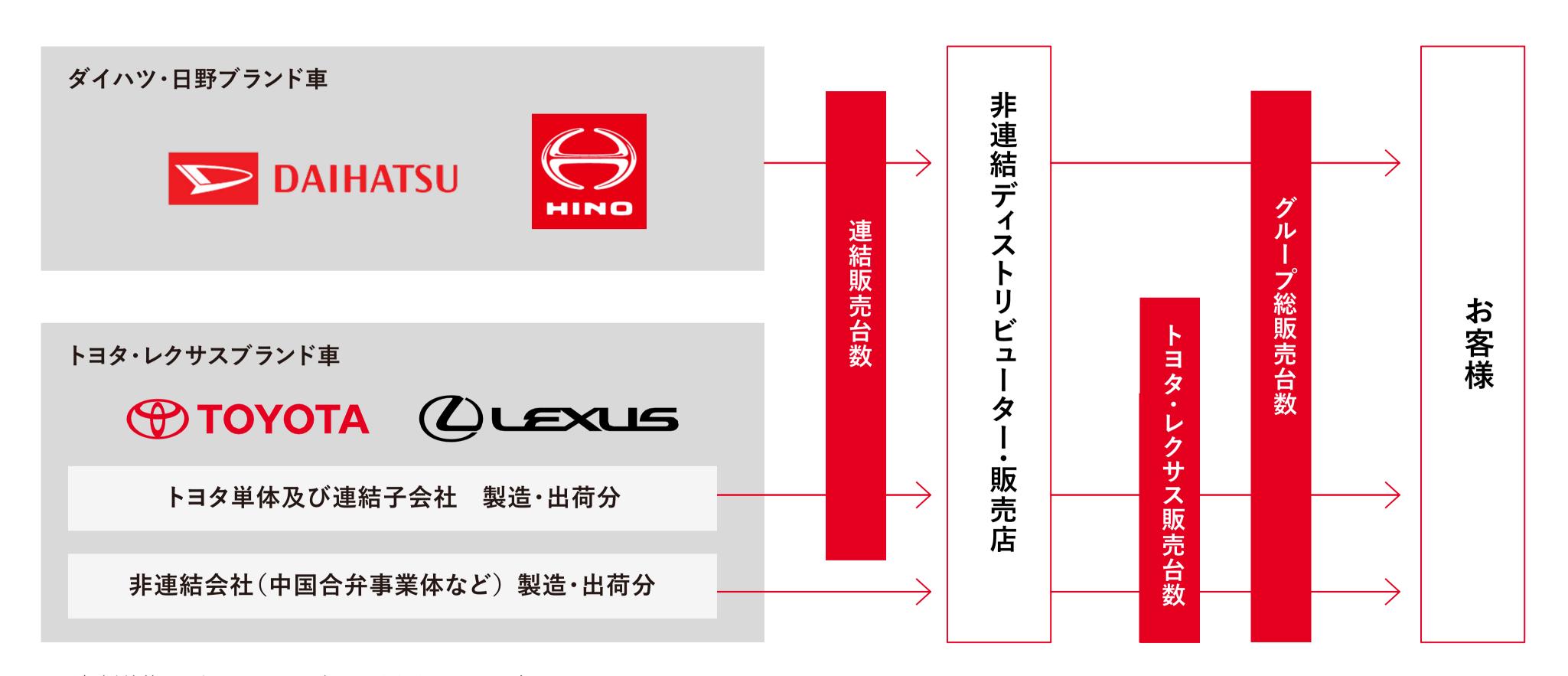
金融事業を除いた、現金および現金同等物、定期預金、公社債および信託ファンドへの投資

<sup>1</sup>株当たり配当額は株式分割(当社普通株式1株につき5株の割合で2021年10月1日に実施)後ベース

報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額

# (ご参考) 販売台数について





<sup>\*</sup>一部例外的に、上記フローに当てはまらないケース有り